



第88号

発行
令和元年6月1日

この題字「おおよまざき」のデザインは
大山崎中学校美術部の作品です



「町民と町議会の懇談会」
が始まります

新年度、そして新元号がスタートしました。
私たち大山崎町議会は、新しい時代に
大山崎町が飛躍するため、
より広く町民の皆さんの声を聴き、
町政に反映させるよう努めます。

【新年度予算】こんなことが決まりました①〈新年度主要事業〉

討論「新年度予算、私はこう考える」(New!) 2 ~ 3

平成31年度予算修正案を可決

— 予算原案(町長提案)は実質否決 —

審議結果・議案情報 4 ~ 5

【条例等】こんなことが決まりました② 6

《募集中》町民の皆さまとの懇談会を開催します 7

【どうなってる!?!】議会での質問(10議員) 8 ~ 11

政務活動費の収支内訳を公表 11

令和元年第2回(6月)定例会日程&議会ニュース 12

決まりました (審議結果は、4・5ページをご覧ください)



各議員(「討論」私はこう考える)が作成しています。

町立保育所の施設更新・長寿命化管理計画を策定します

平成31年4月開所の民間保育所の運営経費(委託)及び補助、並びに各種子育て支援施設への補助費として、2億5,036万5千円。この内訳は、国・府負担金1億2,304万2千円、その他5,286万3千円、町負担金7,446万円。また、町立保育所の施設の更新・長寿命化を含めた管理計画の策定として641万7千円、第2保育所の空調設備の更新47万4千円など、子育て支援に関する予算は、全て可決となりました。



小学生の通学路に「防犯カメラ」を設置します

通学がもっと安心に

両小学校の外壁改修設計や、防犯カメラ整備について質疑がありました。防犯カメラは新たに4台設置し、通学路における不審者情報が多い箇所に設置するとの説明がありました。

小学校給食室の衛生基準向上の必要性を確認

大山崎中学校の敷地内において自校方式の設計委託料が提案され、完成は令和2年度中をとの説明がありました。また、大山崎小学校は令和5年～6年、第二大山崎小学校は令和3年～4年に衛生基準を満たすよう改修するとの説明がありました。委員からは、両小学校の改修で衛生基準が満たせるのか。これまで行われてきた給食検討委員会での資料についての質問や、他市の改修状況や、今後の費用面や実施時期等、様々な意見が交わされました。

住民票の写しなどのコンビニ交付サービスが始まります

住民票などの取得がもっと便利に

マイナンバーカードをお持ちの町民の方は、各証明を全国のコンビニで、土日祝、早朝や深夜にもお取りいただけます。

必要なもの	取得できる証明書
マイナンバーカード	住民票・印鑑証明書

いつでも

どこでも



J R山崎駅バリアフリー化の工事開始

令和2年度末(平成32年度末)完成に向けてJRが設置工事をはじめます。

史跡大山崎瓦窯跡の整備

国の史跡、平安宮の所用瓦を焼成した平安時代前期の瓦窯跡の整備を引き続き行います。

<p>修正案に賛成 日本維新の会 井上博明</p> <p>中学給食を自校方式で平成32年度中に開始、小学2校の給食施設を衛生基準に適合するよう改修設計する予算であり、継続事業の精査は充分満足できないが、評価に値する。</p>	<p>修正案に賛成 大山崎クラブ 山中一成</p> <p>あなたのできたこと、そして、就任後、この間にしていることは、矛盾だらけで無責任極まりないものです。我々は、あなたの辞任を引き続き求め続けることを表明します。</p>	<p>修正案に反対 杵蔵賢二 辻真理子</p> <p>危機管理の面から副町長の不在が職員の負担と確認した一方で、副町長等行政を進めるための人件費が削減され、職員の負担軽減にもならず、行政を停滞させる要因となる。</p>	<p>平成31年度一般会計予算</p> <p>【討論】私はいこう考える</p>
---	--	--	---



平成31年第1回(3月)定例会

こんなことが

この紙面の掲載内容は、本会議の討論をもとに広報常任委員会委員、

予算総額は「前年比6.5%削減」し、小さな行政へ転換

予算総額は約4億円減に

「小さな行政への転換」を掲げ、町長から提出された一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ59億3,600万円で、対前年度3億4,400万円を削減、率にして5.5%減とした緊縮予算でした。

ただし、本議会では、総額を58億7,191万9千円（対前年比6.5%減）とする予算修正案が提出され、可決成立しました。内容は下欄をご覧ください。

町税やふるさと応援寄附金などは減少の見込み

町の重要な収入となる町税は、27億945万円の見込みで、前年度に比べ、1億1,071万円減少する見込みです。町民の方からの個人町民税は、前年とほぼ同程度の見込みですが、会社などからの法人町民税が約1億円減少する見込みです。法人町民税は、国内や世界の経済情勢の見通しを踏まえた結果、減少が見込まれる状況です。

また、ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）も、3,000万円の見込みで、前年度に比べて1,200万円減少する見込みです。

平成31年度一般会計予算は「修正案が可決成立」しました

中学校の給食調理施設の設計料は削除に

平成31年度一般会計予算は原案が否決され、同時に提出された修正案が可決成立しました。その主な内容は、町長の任命によって置かれる政策顧問の報酬や、自校式での中学校給食調理施設の新設に係る基本実施設計委託料などを含む原案から6,408万円が削除されたもので、審議の過程で特に給食施設については、既に基本設計が進められているセンター方式での事業を継続すべきとの意見がありました。



現行の第二大山崎小学校の給食室

各議員の賛否や討論の状況は4～5ページを、討論の全文は会議録（町ホームページ）をご覧ください。

<p>修正案に賛成</p> <p>無所属の会 岸孝雄</p> <p>自校式中学校給食調理施設の新設から、既に80%まで進んでいるセンター方式に戻す内容に修正され、小学校へも国の衛生基準の給食が可能となり、法の下での平等の観点から賛成する。</p>	<p>修正案に賛成</p> <p>公明党 嘉久志満</p> <p>中学校給食は、すでにセンター方式で80%まで設計が完成している。両小学校は、国から衛生面での指導を受けている。小・中学校に安心・安全な給食を実現するためである。</p>	<p>修正案に反対</p> <p>杵築義樹 井上治夫</p> <p>自校方式による中学校給食を早く実現すべき。各学校に栄養教諭を配置し、小学校の給食室も基準に合う改修を急ぐべき。自校方式の委託料は高くない。町民へ丁寧な説明を。</p>	<p>修正案に反対</p> <p>のぞみ 波多野庇砂</p> <p>中学校給食関連について、新しい校舎に相応しい敷地内の新給食施設は、小学校2校の施設とは別の問題であり、別途直ちに経年劣化に対処すべき事として指摘する。</p>
--	--	--	--

「賛否が分かれた」議案等の議決結果（賛成○、反対×）

平成31年第1回（3月）定例会

（議席順に掲載）

議案番号	議案名	議決結果	島一嘉	西田光宏	山中一成	北村吉史	嘉久志満	岸孝雄	辻真理子	朝子直美	井上治夫	波多野庇砂	井上博明	渋谷進
1	大山崎町上下水道事業審議会条例の制定について ◆ 上下水道事業の持続可能な運営に関する事項について調査審議する機関を設置する条例	原案決	○	○	○	○	○	留保	○	○	○	○	○	
5	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について ◆ これまで定めなかった非常勤の顧問、参与の報酬額（日額2万円以下）を追加する改正案（6ページをご覧ください）	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
16	平成31年度大山崎町一般会計予算 ◆ 予算内容は2、3ページをご覧ください	修正決	次の発議1号により修正議決した部分を除く原案については全員賛成 賛成、反対討論の要旨は2、3ページをご覧ください											
発議1号	第16号議案 平成31年度大山崎町一般会計予算に対する修正動議 ◆ 第16号議案の原案から、中学校給食（自校方式）の設計委託料（990万円）や岩崎運動広場の改修工事費（2,840万4千円）等を削除する修正案（2ページをご覧ください）	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
意見書案1号	混乱を招く10月からの消費税増税の中止を求める意見書 ◆ 10月からの消費税10%増税の中止を国に求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
意見書案2号	国民健康保険への国の支援を増額することを求める意見書 ◆ 全国知事会等の国への要望に基づき国保会計への財政的支援の増額を国に求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
決議案1号	大山崎町公契約大綱の策定を求める決議案 ◆ 町議会として、町が発注する工事等の公契約を適正化するため、町長に対して公契約大綱を策定するよう求める決議（6ページをご覧ください）	原案決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
決議案2号	大山崎町入札監視委員会運営要綱の改正を求める決議案 ◆ 町議会として、入札及び契約の公正性・透明性の監視や苦情の適切な処理のための手順を改善するため要綱改正を求める決議	原案決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
決議案3号	前川町長に対する問責決議案 ◆ 町議会として、町長の言動や議会を軽視する姿勢、中学校給食等の方針転換についての説明不足を理由として、町長に対して、議会、住民へ真摯な説明を求めるとともに、その責任を厳しく問う決議（6ページをご覧ください）	原案決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	

議長のため採決には加わらない

※議案番号等は平成31年第1回定例会からの通し番号です。

「全員が賛成」であった議案等（人事案件は（ ）にお名前を記載しています）

議案番号	議案名	議決結果	
2	大山崎町情報公開条例の一部改正について	原案可決	
3	大山崎町個人情報保護条例の一部改正について ◆ 国の法律の改正に基づいて、保護すべき個人情報の定義の改正などの条例改正案		
4	大山崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について ◆ 国の法律の制定に基づいて、町職員の時間外勤務の上限を定めるなどの条例改正案		
6	大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について ◆ 公立保育所の長時間保育の料金を乙訓2市に準じて改めるなどの条例改正案		
7	大山崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
8	大山崎町立保育所設置条例の一部改正について		
9	大山崎町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について		
10	平成30年度大山崎町一般会計補正予算（第5号） ◆ 人事院勧告に伴う職員給与改定、プレミアム付商品券事業準備等に必要な予算を増額する一方、両小学校の空調整備で国庫補助対象外となった経費等を減額する結果、3,145万1千円を減額する補正予算		
11	平成30年度大山崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
12	平成30年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算（第3号）		
13	平成30年度大山崎町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		
14	平成30年度大山崎町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）		
15	平成30年度大山崎町水道事業会計補正予算（第3号）		
17	平成31年度大山崎町国民健康保険事業特別会計予算 ◆ 歳入歳出総額 14億7,929万4千円（0.8%減） 《主な事業》 保険給付費（10億6,944万7千円）など		
18	平成31年度大山崎町下水道事業特別会計予算 ◆ 歳入歳出総額 9億8,010万円（24%減） 《主な事業》 排水ポンプ場の建設など		
19	平成31年度大山崎町介護保険事業特別会計予算 ◆ 歳入歳出総額 14億8,232万6千円（4%増） 《主な事業》 介護サービス等の保険給付費（12億8,761万円）など		
20	平成31年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計予算 ◆ 歳入歳出総額 2億8,196万6千円（4%増） 《主な事業》 後期高齢者医療広域連合会へ納付する保険料など		
21	平成31年度大山崎町大山崎区財産管理特別会計予算		
22	平成31年度大山崎町円明寺区財産管理特別会計予算		
23	平成31年度大山崎町下植野区財産管理特別会計予算		
24	平成31年度大山崎町水道事業会計予算 ◆ 歳出総額 6億5,090万4千円（4%増） 《主な事業》 京都府営水道受水費、配水管布設替工事など		
25	大山崎町道路線の起終点の変更について		同 意
26	大山崎町固定資産評価審査委員会委員の選任について（永井 正俊さん）		
27	大山崎町固定資産評価審査委員会委員の選任について（本部 文雄さん）		
28	大山崎町監査委員の選任について（楠木 仁史さん）		

こんなことが決まりました

審議結果は、4・5ページをご覧ください

平成31年
第1回(3月)
定例会

この紙面の掲載内容は、本会議などの討論をもとに広報常任委員会委員、各委員会委員長が作成しています。

「町長問責決議」を賛成多数(賛成6、反対5)で可決

町議会は、町長に対して、以下の内容でその責任を問う決議を行いました。(議決結果は4ページをご覧ください)

「前川町長に対する問責決議」の概要

- ・ 就任前に、「町政の方向性が違う前町長と一緒にやってきた人に継続してもらおう意向はない」と教育長に伝え、教育の政治的中立性を脅かし、教職員、児童生徒、保護者に不安と不信をもたらした。
- ・ 中学校給食のセンター方式から自校方式への転換において、議会や住民への十分な説明責任を果たしていないこと。
- ・ 議会と住民へ真摯な説明を求める。

「公契約大綱策定決議」を賛成多数で可決

町議会は、町が発注する工事又は役務等の請負契約について、透明で公正な競争の促進、地域経済への配慮等の入札契約制度を構築、運用することで、公共調達に求められる社会的要請に応えていくため、町長に対して、公契約大綱の策定を求める決議を行いました。



整備工事の進む大山崎排水ポンプ場

「特別職報酬改正」は賛成少数で否決

昨年第4回(12月)定例会では、町長が任意に報酬額を定めることができるとして否決されましたが、今回、あらためて報酬の上限額(1日2万円以下)が定められたものの、なお町長が議決を経ず任意に任命できる点が解消されていないとする反対意見があり、否決されました。

委員会傍聴で議案資料がより見やすく

第1回(3月)定例会から、各議案の審査が行われる総務産業常任委員会、建設上下水道文教厚生常任委員会、予算決算常任委員会で、傍聴者の方が予算書などの議案資料をより閲覧しやすくなるように議案資料を複数用意しました。

みなさんの傍聴をお待ちしています。



委員会レポート 各委員会の活動について報告します

予算決算 常任委員会

▶ 予算は「24時間5分」、審議しました

予算委員会の審議は先ず平成30年度の補正予算審議から始まり、平成31年度の一般会計予算案等に関する質疑を行い、全て原案のとおり可決すべきものと決しました。予算編成にあたり各費目の需用費や委託費などの経常的な内部管理費や事務経費等で不用残の検証を行い、前年度と比較して減額になったとの説明がありました。質疑内容は新規事業の第5号議案（特別職の職員報酬に関する条例改正）に関わることや、中央公民館等整備検討委員会のためのワークショップ開催事業・住民票の写し等をコンビニで交付するなどに対し行われました。

また、教育費関連の審査では、学校給食整備事業で中学校給食に向けた実施基本計画、及び小学校給食室改修工事に関して多くの質疑が行われました。最終総括質疑・採決後の委員長所見では、今委員会において一部の委員や理事者で質疑・答弁・委員会中の私語等に、予算委員会審査の場に相応しくない言動が見受けられた事への注意喚起を行い閉会いたしました。

(予算決算常任委員長 西田 光宏)

議会改革 特別委員会

▶ 「町民の皆さまとの懇談会」が始まります

一 懇談のお申し込み、お待ちしております

大山崎町議会は、より広く町民の皆さまの意見に耳を傾け、議会活動を通して町政に反映させるため、町民の皆さまとの意見交換の場として「大山崎町議会と町民との懇談会」を始めます。

大山崎町の町政（まちづくり）に関することで、町議会と意見を交わしたいという方は、どうぞお気軽にお申し込みください。



懇談会のテーマ

懇談会のテーマは、町政（まちづくり）に関わるものとしてください。
なるべくご希望のテーマに沿うように調整し、議会から申込者にお知らせします。

懇談会の申込

おおむね6人以上の町民グループであればどなたでも申込可能です。必要事項を記入して、懇談会申込書を議会事務局までご提出ください（メール、ファックス可）。



(お申込みは、QRコードをご利用ください)

開催時期・場所

なるべく申込者の希望日時・場所に沿うように調整し、懇談会に参加する議員等を議会から申込者にお知らせします。なお、お申込の内容によっては、議会活動の関係から、やむを得ずお断りする場合があります。（町議会定例会の日程等は、広報おやまざきや町ホームページ等でご確認ください。）

意見の公表

懇談会で交わされた意見等は、議会できりまとめ、議会広報誌「おやまざき議会だより」及び町ホームページ等で公表します。

どうなってるの!?

一般質問・答弁は、町ホームページの「会議録検索システム」で、全文をご覧いただけます。



10人の議員が課題について質問しました

この紙面の掲載内容は、本会議の討論をもとに各議員が作成しています。

北村 吉史議員
(所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 町内道路の安全確保について

問 府道奥海印寺納所線の拡幅について。

答 現在、小倉橋西側の歩道が未整備であり西山天王山駅開業から歩行者等の増加が見込まれるため、京都府・地元関係者と協議を進め事業を進めて参りたい。

問 西国街道について。

答 島本町から長岡京市に繋がる地域防災計画上も避難経路として位置づけている路線であり、役場からJR山崎までは一定整備されたが、府道から移管された「円明寺区間」ではグリーンベルトによる歩行空間の確保が一定確保された。

問 国道及び府道五条本交差点について。

答 国において、交差点改良のための用地費建物等の補償額の算定をしていると聞いている。町としても努力したい。

2. 前川町長の財政に対する考えと公約について

問 小さな行政への転換とは何か。

答 財政のみならず、行政組織を含め、総合的に「小さく」すること。

問 3保育所堅持と自校方式給食へ転換とは。

答 公立3保育所堅持で待機児童0、中学校は自校方式を含め早期実現に努めると訴えた。

その他、住民目線で共に歩む行政とはなにか、一定の方針転換は必然としたが、行政の継続性をどのように考えているのかについて質問した。

井上 博明議員
(所属会派Ⅱ日本維新の会)



1. 小中一貫教育の実施、編成について

問 国内各自治体において、小中一貫教育が実施されている。現行6-3制の問題点、及び何が小中一貫教育に求められていると考えるか。

答 「小中連携教育」とは、小中学校段階の教員が、情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育であり、本町においても長年にわたり取り組んできた。

近年の学校教育、とりわけ義務教育をめぐっては、いじめ、不登校、校内暴力、学習意欲や学力低下といった様々な課題が生じている。未来を切り開き、将来

を担っていく児童生徒の学びを、小中学校別々に考えるのではなく、義務教育9年間の見通しを持って、系統的に教育を推進していくことが重要であると考えている。引き続き、小中の連携をさらに推進する中で、他市町村の優れた実践も学びながら、小中一貫教育も含めて研究したいと考える。

2. 中央公民館整備について

問 平成22年「公共建物等における木材利用の促進に関する法律」が成立した。中央公民館整備は、木造建築物という選択肢で検討してはどうか。

答 木材利用促進の観点からはもちろんその素材による温もりや和らぎなどを生み出す効果がある。現時点で公民館の整備方針は決定していないが公共施設の整備にあたり木材の利用促進の趣旨に鑑み、十分に調査研究を行っていきたいと考える。

岸 孝雄議員 (所属会派Ⅱ無所属の会)



1, 町長が唱える「大山崎町再出発」戦略について

問 新年度予算総額5%削減実現に向けた具体的な考えを問う。

答 従来型の発想やしがらみにとらわれず、新しい時代に向けた「リストアト大山崎町再出発」とした。町債(借金)残高が増加傾向にある中、今後の人口減少を見据えて予算編成のあり方を抜本的に見直し、5・5%削減したが、内容的にはまだ不十分と考える。

問 町長が唱える「小さな行政」実現に向けた具体的な考えを問う。

答 民間活力の活用による多様な柔軟な公共サービスの提供が必要と考え、住民票等コンビニ交付サービス事業などを予算

に計上した。

2, 公共施設及び道路環境の安全対策について

問 老朽化する保育所、学校、公民館、水道施設について維持と課題について問う。

答 町公共施設等総合管理計画や町水道施設整備計画に基づき、施設の更新や長寿命化を含めた維持管理を行ってきた。今後、老朽化対策や耐震化のためには、多額の経費が必要となり、厳しい事業運営となると考える。

問 道路環境の安全対策について問う。

答 31年度から比較的通量の多く歩道のない通学路で路側帯カラー舗装を予定している。

3, 防災施策について

問 近い将来発生が懸念される大規模震災への対応策について問う。

答 自助、共助、公助の重層的な危機管理体制を構築して、安心・安全の取組を進める。

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



1, 財政について

問 前山本町政の約10億円の町債増の多くはこれから償還となる。10年払いとすれば、毎年1億円の償還となる。返済計画を問う。

答 平成29年度に借入された町体育館機能向上工事の償還は、2023年度から元金償還が始まり、元利償還金の年額は、3,093万円。既存の借入完了時期を考慮し、借入の度に、可能な限り年間当りの償還額抑制に努め、財政負担の平準化に取り組む。また、今後本格化する公共施設の老朽化対策等による公債費増に備え、減債基金や財政調整基金を積み立てるなど計画的な財政運営に取り組む。

2, 遊休地活用について

問 未利用の遊休地の経済的な活用について問う。

答 未利用地の民間事業者への有償貸付や役場庁舎屋上部分の携帯電話基地局での有償使用許可など有効利用している。未利用地の売却も含め、さらなる財源確保の方法を検討したい。

3, 河川清掃について

問 桂川流域クリーンアクション(河川敷ゴミ回収ボランティア活動)について問う。

答 河川利用者のマナー向上はかねてからの課題であると認識。国においても各種啓発活動等を実施されている。

4, 体育館改修について

問 町体育館に設置のエレベーターとクローラーの2億円について。

答 町体育館改修工事の内訳は、各室の既設空調機更新で約1億7千万円、エレベーター棟新設で約7千万円。

辻 真理子議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1, 保育環境の充実に

1, 保育環境の充実に

問 平成31年度の保育所等入所決定数を見ると、6つの保育所で待機児童を出さなかったと考える。引き続き、6園体制維持が必要と考えるがいかがか。

答 平成31年度当初の保育所入所予定児童数は500名を超え、平成30年度当初と比較すると、約20%増と大幅に増加している。公立保育所3園堅持とともに、小規模保育施設2ヶ所と4月から開所される大山崎さくらの里保育園と合わせて、6園体制で待機児童を発生させないように対応していく。

資格取得補助等を検討してはいかがか。

答 公立・民間隔てなく保育士を確保が必要不可欠である。国で行われている保育士の確保策の活用を含めて検討する。

問 どの保育所に通っても、行き届いた保育環境を整えるために、第2保育所の改修を急ぐべきと考えるがいかがか。

答 今後第2保育所を継続していくには、長寿命化または施設の更新を含めた検討が必要である。平成31年度当初予算にて、第2保育所を含む町立保育所の施設管理計画策定に向け業者選定等を進めていく。

その他、虐待防止対策

について、国民健康保険税の今後の税額の見直しや、引き下げについて質問した。

問 保育士確保も重要な課題である。処遇改善や、

西田 光宏議員 (所属会派 大山崎クラブ)



1. 危機管理(安心・安全)について

問 災害時等、危機管理における最高責任者である町長の考えを問う。

答 町政を預かった者として、危機事象から住民の皆様の生命身体を保護し、安心・安全を確保するため、町長就任以来、職務に臨んでいる。平時からの訓練と備えが重要なため、日頃からできる対策を着実に進めていく。

再質問 3月議会が始まる少し前に海外に行かれたのか。その外出は公務なのかプライベートなのか。また、公務で行かれたなら何故、議会側に報告が無いのか。町長不在時に、町に大規模災害が起こった場合の対策についての考えは。現在、ま

た、町長不在時の管理責任は誰になるのか等を問う。

答 プライベートに関する事なので、答弁は差し控える。災害時の危機管理体制の本部長は町長である。本部長に事故があったり欠けたときは副本部長(①副町長 ②教育長)がその代理をすることとなる。

その他、教育課題について、児童虐待の現状と課題・保育所及び学校における児童虐待に対する取り組み・学校給食施設について・小中学校の児童生徒に対する英語教育について等を質問した。

井上 治夫議員 (所属会派 日本共産党議員団)



1. 自校方式の学校給食の実現について

問 給食委託料の試算について問う。

答 センター給食運営費は、委託費を小学校2校分で、光熱費を1食20円で試算。自校方式運営費は、委託費を小学校の2校分と中学校分は小学校の半分を加え、光熱費を1食10円で試算。

問 栄養教諭の各校配置について問う。

答 栄養教諭の役割は重要で各校配置は望ましい。

問 中学校給食の実施時期を問う。

答 19年度に設計業務を完了し、20年度に新築工事を実施、20年度中の提供をめざす。

問 小学校の給食施設整備を問う。

答 大規模改修により老朽化対策を行う。

問 実施までのスケジュールなどの説明を問う。

答 保護者の理解と協力のため事前の説明が重要。

2. 教職員の働き方改革

問 教職員の超過勤務の実態とその軽減を問う。

答 長時間勤務が常態化。勤務実態把握、ノー残業デーなどに取り組む。

問 国や京都府に定数増を求めることを問う。

答 児童虐待や不登校など学校が抱える課題が複雑化、多様化。教育活動に支障が生じたら、国や府に要望する。

3. どこに住んでも暮らしやすい大山崎町に

問 図書室や役場機能、避難所や公共交通の整備

地元の商業施設を大事にする考えを問う。

答 「まちづくり基本条例」に向けて検討する。

島 一嘉議員 (所属会派 大山崎クラブ)



1. 中央公民館ホール改修工事について

問 早期整備に向けて、町長の考えを問う。

答 保健センターや長寿苑の整備課題も含めワークショップを開催する。

2. 防災の設備の計画的な更新について

問 自然災害でも大いに活動する町消防団、拠点の消防団詰所や車両、設備の更新計画を問う。

答 町消防団は火災や自然災害で共助の要であり、整備充実に努める。

再質問 消防車両や安全装置の計画的更新と合わせ、分団詰所の更新を問う。

答 検討していく。

3. 生産緑地法について

問 生産緑地地区の一律500㎡以上という面積要件を、市町村が条例で引下げることが可能となったが、町での導入を問う。

答 町では平成25年から生産緑地を導入している。生産緑地法が改正され面積要件を引き下げることが可能となったため、今後検討する。

再質問 平成30年に作られた個別施設計画に基づき、効率よく計画的に進め、早期整備できるのか。さらに仮置き埋蔵物移動先として白味才の瓦窯跡整備事業や鳥居前古墳用地買上事業に付随して保管や見学施設を建設してはどうか。

答 広く住民の意見を聴き進める。



朝子 直美議員 (所属会派 II 日本共産党議員団)



1, 財政運営について

問 町長は財政規模の拡大への危機感から慎重な財政運営を志向されていると見受けられる。財政規模の拡大や負債額の増加そのものを問題とするのではなく、財政規律を前提としながら、住民のくらしの願いにこたえ、住民福祉の増進に寄与する施策を行うことが大切だと考えるがいかがか。

答 私にとって初めての通年予算編成にあたり、私の考えをわかりやすいメッセージとして発信するため「当初予算額5%削減」を掲げた。その意図は、この間の予算規模の拡大路線を継続することにより危機感を覚えたことから「予算のあり方を抜本的に見直す」というこ

とである。

時代に即した適正な財政規模を見極めながら、必要な住民サービスをしっかりと提供することのバランスを図ることが重要だと考えている。

再質問 町民に財政状況

の現状や見通しをわかりやすく説明することが必要だと考えるがいかがか。

答 今議会終了後に「予算説明会」を行いたいと考えている。

その他の質問事項

- ・水道事業について
- ・公共工事における変更契約について

山中 一成議員 (所属会派 II 大山崎クラブ)



1, 平成31年度予算について

《学校給食について》

問 中学校給食検討委員会での提言を受け、センター方式が望ましいとの結果に至った。それにもかかわらず、自校方式へと方針転換されたことについて、この間、既に入した経費をどう考えているのか。

答 予算編成の最終権限のない教育委員会としては、今後の事業進捗において、限られた予算の中で、最小の経費で最大の効果を上げるべく、中学校給食の導入に向けて最善を尽くしたい。

問 当初予算案に自校方式を進める経費を計上しているが、両小学校については、国の基準を満た

すことになるのか。

答 現在の改修計画では、現行の国基準を一部満たさない項目が残る。

問 センター方式と自校方式のランニングコストも含めた長期的総コストについて、どのように認識しているのか。

答 施設整備費と20年間の運営費を加えた比較では、センター方式は約15億9千万円、自校方式は約18億6千万円との試算結果である。

問 住民参加を叫ぶ以上、中学校給食施設の場所選定等については、丁寧に生徒や保護者等の住民意見を聴取されるのが当然である。その方針と給食の実施時期を問う。

答 事前の説明が重要と認識している。町のホームページを活用して、広くお知らせしていく。

その他、財政状況と町長の認識・防災・減災・中央公民館の改修について質問した。

平成30年度 政務活動費(11月～3月分)内訳を公表します

(単位：円)

会派名	大山崎クラブ	日本共産党議員団	公明党	日本維新の会	のぞみ	無所属の会	合計
会派人数	4人	4人	1人	1人	1人	1人	12人
当年度交付額	100,000	100,000	25,000	25,000	25,000	0(辞退)	275,000
経費	研修費	24,900		7,300			32,200
	広報・広聴費		58,380		26,703		85,083
	資料購入費		23,860	24,300	11,207		59,367
	事務費	19,980	1,148		8,171		29,299
合計	44,880	83,388	24,300	26,678	26,703	0	205,949
返還額	55,120	16,612	700	0	0	0	72,432

「調査研究費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・人件費」は、支出がありませんでした

町議会は、町民に開かれた議会を目指し、政務活動費の内訳を公開（ホームページ掲載）しています。

いくら交付されるの？

「会派」に属する議員1人当たり月額5千円、交付されます。

第2回定例会（6月議会）の傍聴に、ぜひお越しください

6月

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
				開会 (本会議) 10:00~	一般質問通告 請願陳情提出 締め切り ~17:00	
9	10	11	12	13	14	15
	議会改革 (委員会) 13:30~			一般質問 (本会議) 10:00~	一般質問 (本会議) 10:00~	
16	17	18	19	20	21	22
	総務産業 (委員会) 13:30~	建設上下水道 文教厚生 (委員会) 13:30~	予算決算 (委員会) 10:00~		広報 (委員会) 13:30~	
23	24	25	26	27	28	29
		閉会 (本会議) 10:00~				

傍聴の際は、役場4階議会事務局にお越しください

表紙の写真

旗立松の鳥居

議会のうごき(こんなことしています、私たち)

- 閉会中の委員会開催
- ★議会運営委員会
5月8日(水)
第2回定例会の日程
について
- 5月31日(金)
第2回定例会での予
定議案の説明
- ★全員協議会
4月25日(木)
5月8日(水)
- ★広報常任委員会
5月17日(金)
議会だより第8号編
集
- 議員視察団の研修来庁
5月20日(月)
熊本県の嘉島町の議
員団
視察研修テーマ「議
会活性化の取組み」

町議会に対するご意見やご質問、ご感想等をお寄せください

みなさんの声、お便りをお待ちしています。

〒618-8501
大山崎町字円明寺小字夏目3番地
大山崎町議会事務局

電話(075)956-2101
Fax(075)953-6020
メール(QRコードをご利用ください)



- 広報常任委員会
- 辻 真理子 委員長
 - 島 一嘉 副委員長
 - 嘉久志 満 委員
 - 岸 孝雄 委員
 - 波多野 庇砂 委員
 - 井上 博明 委員

梅雨の季節になりました。
憂鬱な日々が続きますが、町
民の皆様におかれましては、
この季節、食中毒には気を付
けて下さい。
さて、議会におきましては、
3月に第1回定例会が開催さ
れました。平成31年度予算及
び多数の議案を慎重に審査を
行いました。
また、議会改革特別委員会
におきまして、長年の議題で
ありました町民の皆様の見
を直接お聞きする懇談会を行
うことを決定いたしました。
皆様の意見を町政に反映出来
ますよう議員一同頑張ってま
いります。

(嘉久志 満)

編集後記

